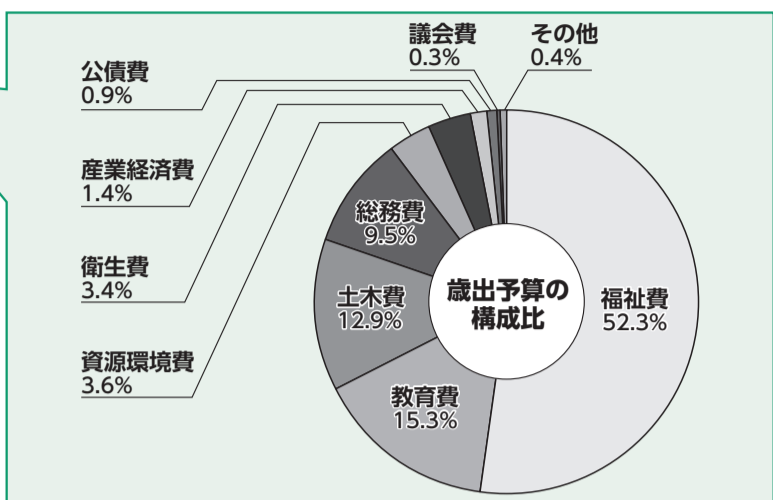


# 令和8年度 当初予算の概要と予算に対する討論(要旨)

<b>一般会計</b>	<b>3,015億円 (9.5%増)</b>	
<b>特別会計</b>	国民健康保険事業	534億8,000万円 (0.0%減)
	介護保険事業	484億1,600万円 (0.5%増)
	後期高齢者医療事業	160億5,000万円 (9.4%減)
	東武東上線連続立体化事業	5億9,300万円 (52.6%減)

※かっこ内は対前年度比



**共産党** 賛成 予算修正動議 反対 一般会計、4特別会計

**住民の命と暮らしを守るため 本来の役割を発揮すべき**

- 物価高騰対策が不十分であり、区民に新たな負担を押し付ける予算となっている。区民生活の困難に寄り添う予算にすべき。
- 第一子の保育料無償化の影響で、待機児童が増加する見込みである。保育所を増やす方針に変えるべき。
- 教育現場の職員体制を会計年度任用職員に頼っている。子どもと家庭に寄り添い、責任ある対応を取るため、無期雇用にすべき。
- まちづくりや公共施設の再整備計画が住民不在で進められている。住民とともに作るまちづくりへ転換すべき。また、公共施設は集約統合ではなく、増やす方向に転換すべき。
- 基金貯め込み優先の財政運営が継続している。考えを改め、区民一人ひとりの暮らしを支えるために使うべき。

**自民党** 賛成 一般会計、4特別会計 反対 予算修正動議

**区民一人ひとりの税金が適切に生かされていると実感できる予算執行を**

- 景気変動や財政状況の変動に耐えることができるよう、一定規模の基金の積立てが行われていることを評価する。
- 子どもを含めた区民の声を聞き、使うべきところに予算を費やすよう要望する。
- 都や他区と連携し、不合理な税制改正の抜本的な見直しなどについて、国に強く訴えることを求める。
- 予算審査での、区役所をコストセンターからバリューセンターへと構造転換すべきという指摘や「絵本ストリート」の提案などを念頭に置き、具体的な計画の策定を。
- タレントマネジメントシステムの導入は人材育成などの基盤整備として期待するが、単なるデジタル化ではなく、区の人事のあり方そのものを変える契機とすることを求める。

**公明党** 賛成 一般会計、4特別会計 反対 予算修正動議

**区民生活を最優先に考慮したきめ細かな施策を**

- 3歳児健康診査から就学時まで公的健康診査の機会がなかった中で、5歳児発達健康診査が実施されることを高く評価する。
- 「小1サポーター」の設置は、新たな環境への適応が難しい児童への支援策として評価する。
- 新たにスタートする終活支援事業は、高齢者の不安を解消できる事業となるよう期待する。
- 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費助成事業について、助成額の拡充を高く評価する。
- 「創造都市いたばし」の推進について、区ならではのブランドとして、「絵本のまち板橋」を強力にPRするよう要望する。
- 新たにオープンする栄町集会所について、多世代が集い、交流し、地域活動へ参画しやすい集会所としての機能を遺憾なく発揮するよう要望する。

**民主クラブ** 賛成 一般会計、4特別会計 反対 予算修正動議  
※態度の詳細は6面参照

**区民の声を反映させながら施策の充実を図り 課題への迅速な対応を**

- 5歳児発達健康診査の実施に期待する。関係機関と積極的に連携し、必要な支援を早く確実に届け、スムーズな就学につなげるべき。
- 「新たなあいキッズの展開と居場所づくりの推進」を高く評価する。支援員が継続して、安心して働けるよう環境を整備すべき。
- 日本語学習初期支援クラスの設置を評価する。学校現場だけでなく、困ったときに1つの窓口で相談できるよう、多文化共生を推進するための拠点整備を検討すべき。
- 歩きたばこやたばこのポイ捨てを減らすため、公衆喫煙所の設置を推進すべき。
- 高島平グランドデザインの改定にあたっては、UR団地新棟の家賃激変緩和措置や高島平駅改修などを盛り込み、住民が高島平地域の再生を実感できるよう推進すべき。

**いたばし未来** 賛成 一般会計、4特別会計 反対 予算修正動議

**共創の仕組みを整え、区民が持続的に関わる環境を築きながら、未来への投資を**

- あいキッズを活用した朝の居場所について、10校で開始することを大変評価する。今後は、全校実施の早期実現に向けた工夫を。
- 地域福祉コーディネーターを12地区に配置することは、地域に寄り添った支援体制の強化として評価する。一方で、役割が散漫にならないよう、重点を明確にすべき。
- まちづくりにおいては、地域活動に関わる住民に対する報償費の支払いなど、担い手の善意のみに頼らない仕組みの構築を求める。
- すくすくカード事業の電子化を評価するが、利用促進に向けた取組を求める。
- 学校図書館の地域開放は、子どもの遊び場の拡大につながる取組として評価する。地域に開かれた学校は、教員の負担軽減にもつながるものであり、今後さらに推進すべき。